



研修会事務局（研修室）からのお願いとお知らせ

電話 03-3571-4109

⇒スマホをお持ちのかた協力を

①相談・支援センター向け研修会とは（温故知新）

②相談・支援センター関係者（肝Co）

に知って欲しいこと



東急グループ
[貸し会議室]

2022年さあ、

リアルコミュニ

バックアップ回

「新橋駅」座口徒歩

肝がんにも
サヨナラするゾ〜



開始までしばらくお待ちください

3/1相談支援センタ向け研修会

**本日の研修会に参加
された理由は？**

Live! アンケート



**2020年3月開催が中止⇒本部屋を仮予約
2020年6月5日/6日からお待ちしております**

**それでは、前回参加者が50%のところ恐縮ですが
1分間で・・・**



①a肝疾患相談・支援センター向け研修会とは

2015年度 肝疾患診療連携拠点病院 看護師向け研修会・相談員向け研修会

- 医師向け研修会 年 2 回
- 看護師向け研修会 年 1 回 拠点病院内
- 相談員向け研修会 年 1 回 相談センター内

肝炎情報センターHPで資料公開
(研修会アーカイブ参照)

看護師向け2日間(2015)

日時	講義内容	講師氏名
9:00～ 9:30	受付	
9:30～ 9:40	開講式 オリエンテーション	肝炎・免疫研究センター長 溝上 雅史
9:40～ 9:45	国府台病院長挨拶	病院長 上村 直実
9:45～ 9:50	本省挨拶	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
9:50～ 10:30	拠点病院事業の現状と課題	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 ●発表資料(PDF)
10:30～ 10:40	休憩	
10:40～ 11:30	医療コミュニケーション ～西情対応でなぜスキルが使えないか～	奈良県立医科大学健康政策医学講座 講師 岡本 左和子 ●発表資料(PDF)
11:30～ 12:10	肝硬変・胆管肝患者に対する 栄養療法の現状と課題	独立行政法人国立病院機構 富山総合医療センター 統括診療部 栄養管理室長 古田 雅
12:10～ 13:00	昼食	
13:00～ 13:35	講義① 肝疾患相談における看護師の新しい役割	岡山大学病院 新医療研究開発センター 難波 志穂子 ●発表資料(PDF)
13:35～ 14:10	講義② 肝臓病教室立ち上げまでの過程と 看護師の役割	大阪市立大学医学部附属病院 松崎 聖美 ●発表資料(PDF)
14:10～ 14:45	講義③ 難治性腹水患者の患者指導	独立行政法人国立病院機構崎陽医療セン ター 寺尾 敦 ●発表資料(PDF)
14:45～ 15:05	休憩 (グループワークに備え机の並べ替え)	

14:45～ 15:05	休憩 (グループワークに備え机の並べ替え)	
15:05～ 15:40	講義④ 肝疾患患者が感じる偏見・差別と 医療者側とのギャップ	特定非営利活動法人 東京肝臓友の会 事務局長 米澤 敦子 ●発表資料(PDF)
15:40～ 17:00	グループワーク	GW 1.5時間
8:30～ 9:00	受付	
9:00～ 9:15	記念写真撮影	
9:15～ 12:00	グループワーク	GW 2.5時間
12:00～ 13:00	昼食	
13:00～ 15:00	発表 各10分 質疑応答	発表 10分
15:00～ 16:00	閉講式 修了証授与	

**医師の参加無
そもそも分けて
開催する意味は**

相談員向け1.5日間(2015)

日時	講義内容	講師氏名
12:30～ 13:00	受付	
13:00～ 13:05	開会の挨拶	肝炎・免疫研究センター長 溝上雅史
13:05～ 13:10	本省挨拶	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
13:10～ 13:40	我が国の肝炎対策について	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 ●発表資料(PDF)
13:40～ 14:10	C型肝炎経口薬耐性の考え方	肝炎・免疫研究センター長 溝上雅史
14:10～ 14:25	地域ブロック単位で考えることの意義	肝炎情報センター長 正木尚彦 ●発表資料(PDF)
14:25～ 14:30	グループワーク席移動 (休憩)	
14:30～ 16:00	グループワーク	GW 1.5時間
16:00～ 17:00	全体発表 各グループごと 8分	中間発表 8分
8:30～ 9:00	受付	
9:00～ 9:15	記念写真撮影	
9:15～ 12:00	グループワーク	GW 2.5時間
12:00～ 13:00	昼食	
13:00～ 14:10	全体共有 発表 各グループごと10分 質疑応答	発表 10分
14:10～ 15:00	総合討論	
15:00～ 15:30	閉講式	

①b肝疾患相談・支援センター向け研修会とは

2016年度 肝疾患診療連携拠点病院看護師・相談員向け研修会（1泊2日）

○テーマ

院内における看護師と相談員とのコミュニケーション（院内連携）の向上を図る
～院内肝炎医療コーディネーター育成・活用を目指して～

○タイムスケジュール 3月3日（金曜日）

1. 挨拶 13:00～13:10

肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 磯田 広史

2. 我が国の肝炎対策について 13:10～13:30

厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 磯田 広史

3. これまでの研修会内容 相談員向け研修会 13:30～13:50

東海大学医学部付属病院 総合相談室 伊勢 啓一

これまでの研修会内容 看護師向け研修会 13:50～14:20

国立国際医療研究センター国府台病院 高齊 千秋

<休憩>

4. “相談員”と“肝炎医療コーディネーター”

～拠点病院の専門医は、このように理解し、期待しています～ 14:50～15:15

肝炎情報センター補佐 佐賀大学教授 江口 有一郎

5. 相談員からみた肝炎医療コーディネーター 15:15～15:35

佐賀県健康増進課 統括肝炎コーディネーター 泉 夏美

6. 看護師を中心とした肝炎医療コーディネーター活動

～院内連携から地域へ～ 15:35～15:55

山口大学医学部附属病院 肝疾患センター 副センター長 日高 勲

<休憩>

7. 意見交換会（出席者自己紹介等） 16:00～17:00

※終了後解散

○タイムスケジュール 3月4日（土曜日）

1. 記念撮影 10:00～10:15

2. 肝炎コーディネーターに関するDVD鑑賞とグループ学習（制作：佐賀大学医学部 肝疾患センター）
10:15～12:00

■グループワーク

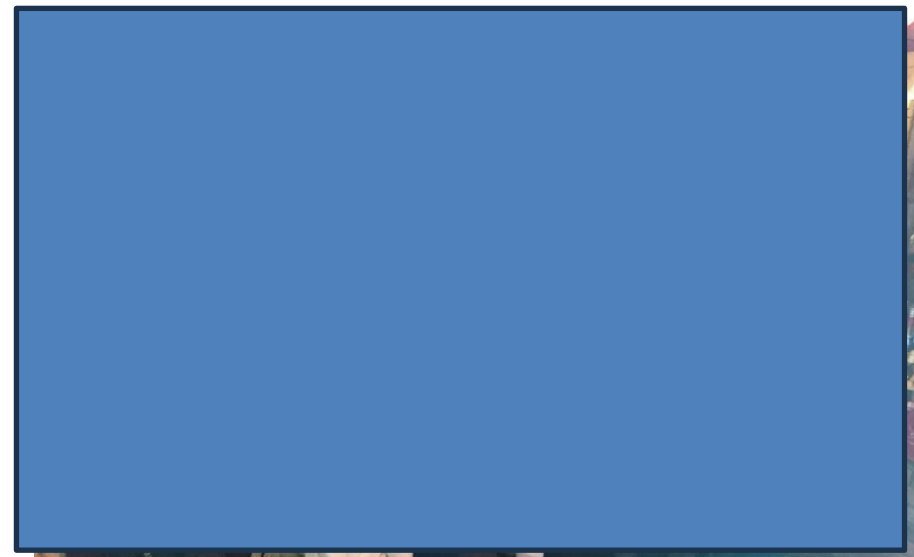
■グループワーク発表

<昼食休憩>

3. パネルディスカッション・総合討論 13:00～15:00

4. 閉講式 15:00～15:30

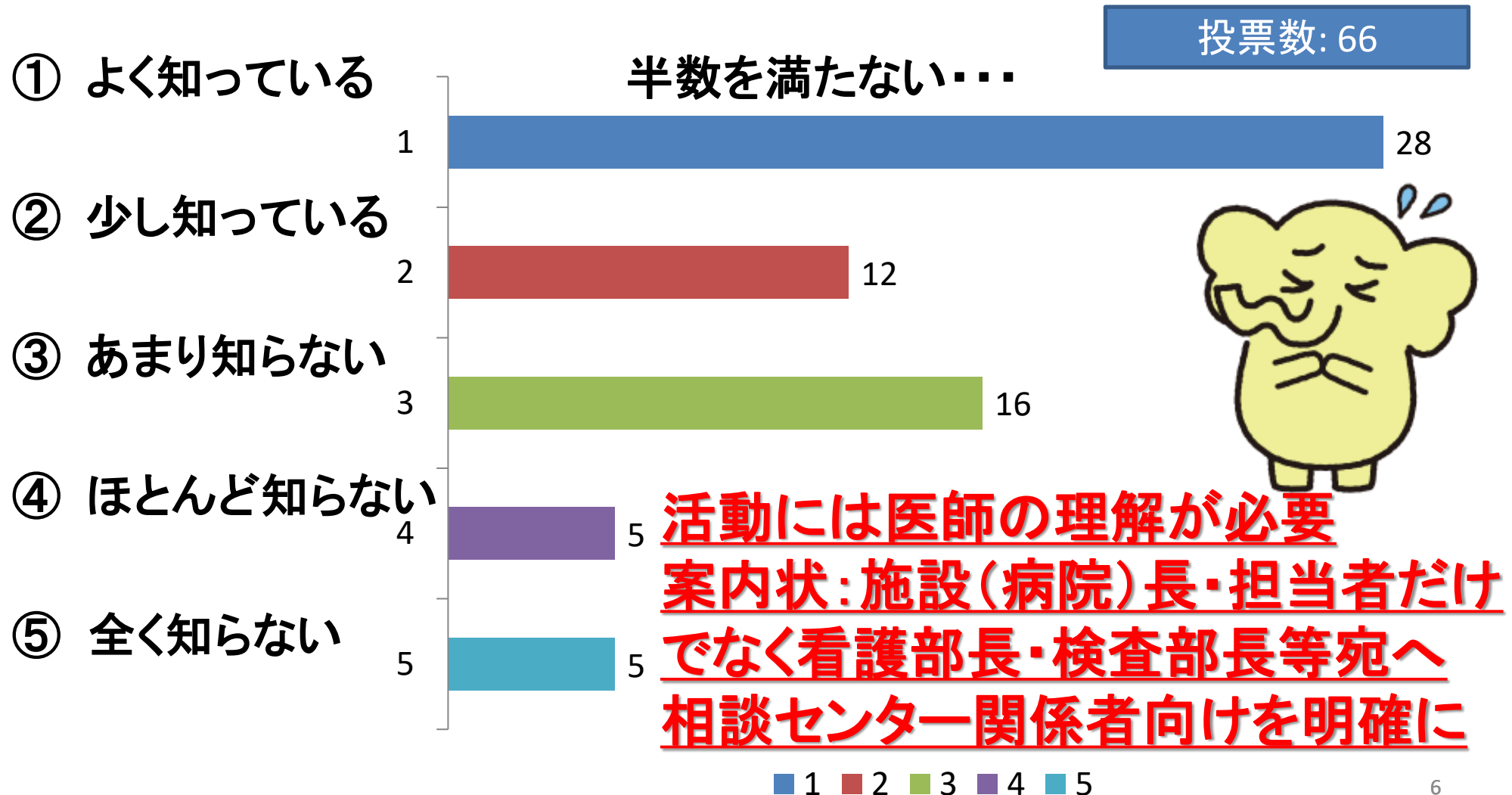
57施設 113名 医師2名（＝講師のみ）



半年後に振り返りアンケート＋次回テーマを募集

①c 質問: 2016年度 研修会アンサーパット

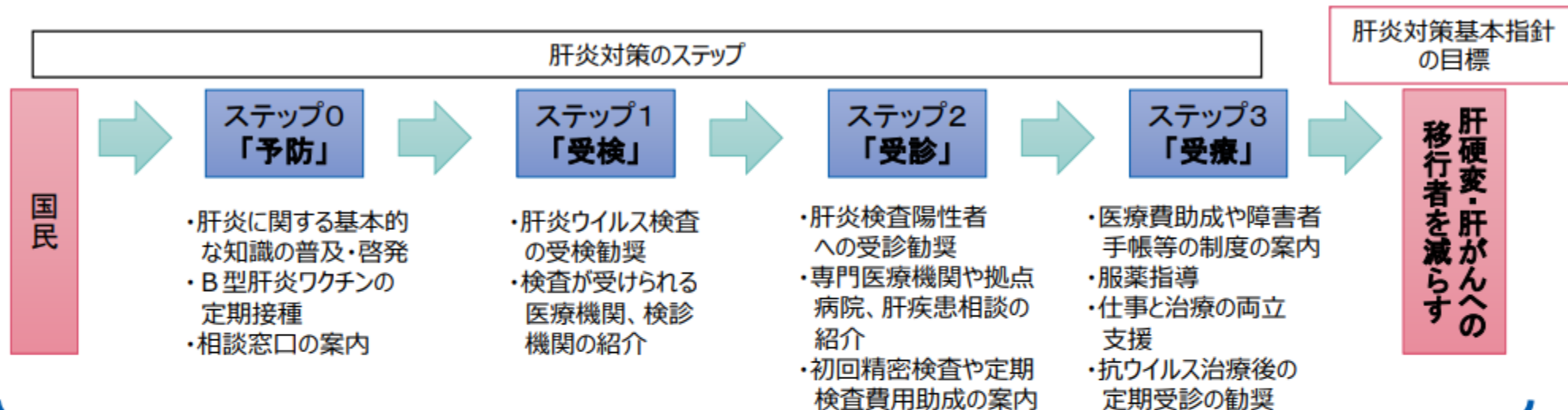
看護師さんへ;肝疾患相談室(相談・支援センター)の相談員をしていますか？



肝炎医療コーディネーターについて

2017年度の肝Co養成・活用
について周知有⇒参加者は肝CO
⇒拠点病院内外連携・共有

「肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について」（健発0425第4号平成29年4月25日厚生労働省健康局長通知）参照



1人で全ての役割を担うのではなく、様々な領域のコーディネーターがそれぞれの強みを活かして患者（国民）をみんなでサポートし、肝炎医療が適切に促進される様に調整（コーディネート）する

肝炎医療コーディネーター

保健師



患者会
自治会等



自治体職員



職場関係者



看護師



医師



薬剤師



身近な地域や職域、あるいは病院等に配置され、それぞれが所属する領域に応じて必要とされる肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、制度の説明などを行う。他の肝炎医療コーディネーターとも協力・連携することで、肝炎の「予防」、「受検」、「受診」、「受療」と「フォローアップ」が促進されることが期待される。

さらに、身近な地域や職域で肝炎医療コーディネーターが活動し、肝炎への理解を社会に広げる基盤が醸成されることにより肝炎患者への差別や偏見の解消に繋がることも期待される。

国立研究開発法人国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター主催
平成29年度(2017年度) 肝疾患診療連携拠点病院
肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会

日 時：平成30年3月2日（金） 13：30～18：00 ・ 3月3日（土） 9：30～15：00

場所：AP浜松町Aルーム

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビルB館地下1階

テーマ：**各拠点病院の活動内容の情報共有
～医師参加による院内連携強化と肝疾患患者へのコーディネート～**

1. 各拠点病院の活動を報告(**ポスター発表**)して頂き、**医師**を含めた参加者で進行しながら、地域**ブロックを越えた情報共有**を目指す
2. 肝炎医療コーディネーター(Co)は、自治体の状況によって認定・育成方法等が異なり、その状況を共有し、肝疾患相談・支援センターが出来る「**コーディネート(調整)**」について考える

参加予定人数: 120名(113) ⇒ **医師36名参加(2)**

参加予定施設: 54施設(56)

懇親会予定人数: 52名(35)

ポスターはPDF化・DVD作成提供可能⇒メディカルスタッフセッションへ発展 情報センター主催研修会が各地域の研修会開催の参考になればと・・・

ポスター発表



グループワーク



パネルディスカッション・総合討論



啓発資材⇒投票でgood資材を決定



ポスターはPDF化・DVD作成提供可能⇒メディカルスタッフセッションへ発展 情報センター主催研修会が各地域の研修会開催の参考になればと・・・

肝炎医療コーディネーター：各都道府県での実態と課題

Special Session-1：The Roll of Medical Care Coordinators in Therapy for Liver Diseases in Japan

第1日目 5月30日（木）15：00～17：30

第8会場（京王プラザホテル 42F 高尾）

司会 考藤 達哉 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター
江口有一郎 佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター
立木佐知子 徳島大学病院肝疾患相談室

- MP1-4 当県における地域肝疾患アドバイザーの活動状況と課題
岩手医科大学附属病院看護部 高島みゆき（たかしま みゆき）
- MP1-36 特任肝疾患コーディネーターである病院管理栄養士としての使命
広島赤十字・原爆病院医療技術部栄養課 山根那由可（やまね なゆか）
- MP1-25 肝炎医療コーディネーターとしての管理栄養士の役割
三重大学医学部附属病院栄養診療部 原 なぎさ（はら なぎさ）
- MP1-30 肝疾患専門医療機関における肝炎医療コーディネーターとしての薬剤師の取り組み
神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部 山本 晴菜（やまもと はるな）
- MP1-34 歯科を受診する患者に対する肝炎検診受検勧奨の工夫
岡山大学病院医療技術部歯科衛生士室 三浦 留美（みうら るみ）
- MP1-10 茨城県における肝炎医療コーディネーター活動の実態と課題
東京医科大学茨城医療センター肝疾患相談支援センター 會田美恵子（あいだ みえこ）
- MP1-39 広島県における肝疾患コーディネーター活動と今後の課題
広島大学病院看護部 河本 有花（かわもと ゆか）
- MP1-42 徳島県での肝炎医療コーディネーターの現状と活動について～多職種間のより綿密な連携を目指して～
徳島大学病院患者支援センター肝疾患相談室 立木佐知子（たつき さちこ）
- MP1-47 大分県における肝炎医療コーディネーターの活動状況と課題
大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター 藤田 幸子（ふじた さちこ）
- MP1-49 沖縄県肝炎医療コーディネーターの実態と今後の課題
琉球大学医学部附属病院看護部 砂川 綾美（すなかわ あやみ）
- MP1-40 山口県における肝炎医療コーディネーター活動の状況
山口大学医学部附属病院看護部 増井美由紀（ますい みゆき）
- MP1-6 福井県における肝炎医療コーディネーター（Co）の実態と課題～養成と活動の両側面から～
福井県済生会病院 橋本まさみ（はしもと まさみ）
- MP1-45 肝炎医療コーディネーターのモチベーションアップのためのスキルアップ研修の実施と効果
佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター 矢田ともみ（やだ ともみ）

肝疾患の医療行政：各都道府県での実態と課題

Special Session-2：Government Policy for Liver diseases in Japan

第2日目 5月31日（金）14：30～17：00

第8会場（京王プラザホテル 42F 高尾）

司会 田中 純子 広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学
是永 匡紹 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝炎情報センター
浅山 光一 山梨県福祉保健部健康増進課

- MP2-3 岩手県におけるウイルス性肝炎対策の現状と課題
岩手県保健福祉部医療政策室 小野 泰司（おの やすし）
- MP2-14 肝硬度測定装置（FibroScan）を活用したC型肝炎治療終了者のサポート事業とその成果について
山梨県福祉保健部健康増進課 浅山 光一（あさやま こういち）
- MP2-7 石川県における肝疾患行政
金沢大学付属病院消化器内科 堀井 里和（ほりい りか）
- MP2-26 広島県における肝疾患対策～広島県肝疾患患者フォローアップシステムの運用と課題～
広島大学大学院医歯薬保健学研究科疫学・疾病制御学 源内 智子（げんない ともこ）
- MP2-27 広島県肝疾患患者フォローアップシステム登録者に関する集計解析結果
広島大学大学院医歯薬保健学研究科疫学・疾病制御学/
広島県健康福祉局業務課 三野 恵実（みの めぐみ）
- MP2-24 県と政令市、中核市、拠点病院が連携した肝炎ウイルス検査受検推進の工夫
岡山県保健福祉部健康増進課感染症対策班 春田 祥男（はるた よしお）
- MP2-35 肝疾患診療エコシステムにおける県独自の新たな取り組み～特に直近の重要な課題への対策について～
佐賀県健康福祉部健康増進課がん撲滅特別対策室 池上 愛子（いけがみ あいこ）



情報C研修会バッチ⇒肝Co養成後のバッチは均てん化(34都府県)

福島・栃木・長野・山梨・東京・富山・石川・岐阜・三重・和歌山・兵庫・香川・長崎以外で作成

2017年度作成



2018年度作成



2018年度作成⇒東京都に配布



バッチ着用されていますか？
来年度はバッチ持参で



2018年度 研修会テーマ： 拠点病院における相談業務と課題

平成 30 年度肝疾患相談支援センター向け研修会

A P 浜松町 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館地下 1 階

テーマ：拠点病院における相談業務と現状と課題～相談支援システム活用と偏見・差別について

3月1日(金)

1. 挨拶 13:30～13:40
肝炎情報センター長 考藤 達哉
 厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 〇〇 〇〇

2. 講義 (各 25 分 質疑込み) 13:40~15:10
- 1) 「今後の肝炎総合対策」⇒肝がん助成
厚生労働省肝炎対策推進室 ○○ ○○
- 2) 「最新の肝炎ウイルス治療 (仮)」⇒エブクルサー

- 3)「回答に困る質問・差別偏見」 長崎医療センター 八橋 弘 先生
(休憩＋啓発資料 閲覧)

4. 相談支援システムの現状について 15:30～15:50

5. 相談システム運用例 (他) 15:50~16:20

- 6 グループワークI(質問に困る例について・改善方法等) 16:20~17:00
⇒テーマはアンケートより

- | | | |
|---|-----------|-------------|
| 7 | 中間報告(各5分) | 17.00~17.45 |
|---|-----------|-------------|

- 8 記念撮影 事務連絡 17:45~18:00

9. 意見交換会 18:00~20:00
AP 浜松町 NO ルーム (会場内)
医師 4000 円 それ以外 2000 円

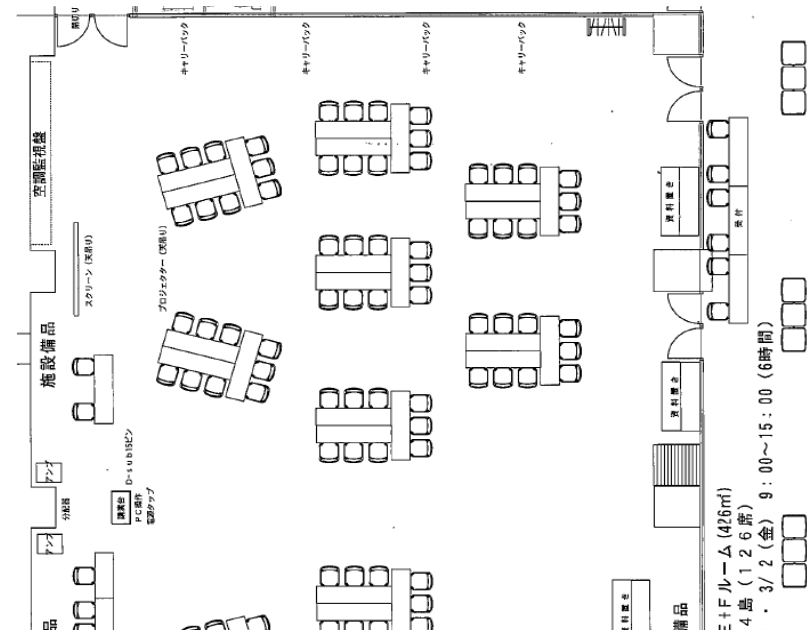
3月2日(土)

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 昨年度のアンケート結果・啓発資材の行方 | 9:30～10:30 |
| 2. グループワークⅡ(＋肝炎室・情報センターへの質問作成) | 10:30～11:30 |

3. グループ発表（10 分以内）+ 討論 12:30~14:00

4. 修了証書授与 閉講式 14:00~15:00

⇒第1報:日時・場所・内容+医師参加要請(+相談システムへの要望・回答困難例)
12月末が締め切り予定



参加予定人数: 108名(120)

醫師22名參加(34)

参加予定施設:54施設(54)

懇親会予定人数:46名(52)

昨年参加者:47名(32)

昼食（各自）

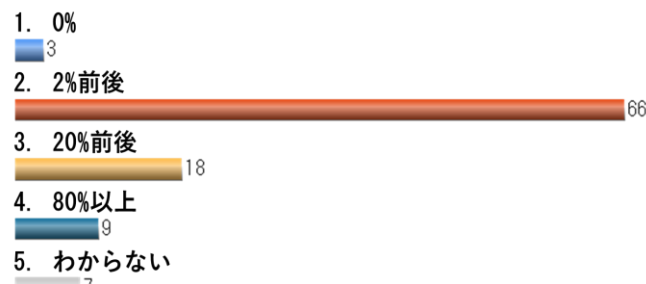
感染知識をアンサーパット

問1d 咳をすると他人に移すか？

B型肝炎



問4 C型肝炎の患者さんの採血をした針を自分に刺した際の感染する確率は？



相談支援システム実用例

H30年度 肝疾患相談支援センター関係者向け研修会

相談支援システム

“私はこう使用している”

福井県済生会病院 橋本まさみ の場合・・・

相談支援システム 当相談室での活用の実例



徳島大学病院
肝疾患相談室
立木佐知子

相談事例・回答を作成

相談事例：

●32歳頃、B型慢性肝炎の急性増悪で入院歴あり。
急性増悪時に核酸アナログを内服を開始しその後、ペグインターフェロンをもちいて内服を中止している。現在肝機能は正常上限を超えることが時にある程度で、DNA量は4LogIU/ml前後を推移している。診断書の病名をB型肝炎としていないので職場にはその後も知られていない。
職業は、消防士で救急車にも乗ることもある。
職場に病名を知らせるべきかどうか、仕事を継続してよいかの相談。

～回答事例～

自分から職場の方には話をしなくてよいが、自分の上司になる人に報告をした方がよいと思われる。
理由は、本人の今後の治療で通院・入院が必要になることがでける可能性があるため。



2019年度(2020年2月28,29日予定⇒延期・中止) ⇒2020年度 コロナ禍における拠点病院活動 (オンデマンド配信)

令和元年度肝疾患相談支援センター関係者向け研修会 (案)

A P 浜松町 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビルB館地下1階

テーマ：拠点病院における相談業務と現状と課題～相談支援システム活用と偏見・差別

2月28日 〇分までに集合

〇. 本日のスケジュール 3:20～

1. 挨拶 13:30～13:40
肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室

2. 講義 (各25分 質疑込み) 13:40～14:30
1) 肝炎総合対策について (仮)
厚生労働省肝炎対策推進室
2) ウイルス肝炎について (仮)
肝炎情報センター 考藤 達哉

3. 特別講演 行動変容を促す 医療コミュニケーションの方法 14:30～15:15
大阪大学 平井 啓

(休憩+啓発資料閲覧 15分)

4. 相談支援システムの現状・これからのグループワーク 15:30～15:40
肝炎情報センター 是永 匡紹

養成・継続研修会では何を？講師は？
多職種？職種別→理想の研修会Agendaを
⇒Coの均てん化 (2022年度テーマ)

8. 明日に向けて (自己紹介等) 17:50～
最長 19:00

令和2年度肝疾患相談支援センター向け研修会 (2021年3月5日～15日)

テーマ 「コロナ禍における拠点病院の活動状況」

1. 挨拶 5分 動画1
肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
室長補佐 大原 正嗣 / 竹内泰江
2. 講義 各20分 動画1
1) 肝炎総合対策について
肝炎対策推進室 室長補佐 大原 正嗣 / 竹内泰江
2) ウイルス肝炎治療の要点-ガイドラインの Update を中心に
肝炎情報センター長 考藤 達哉

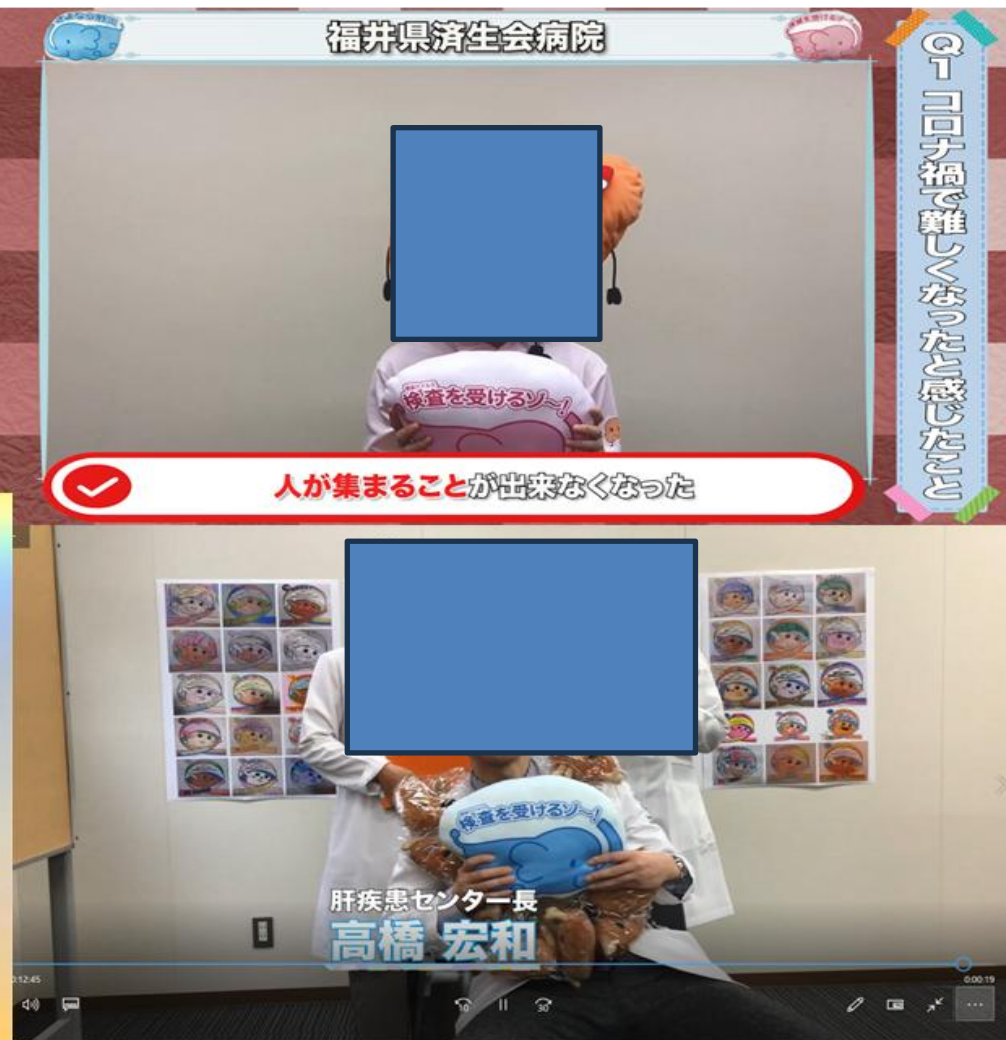
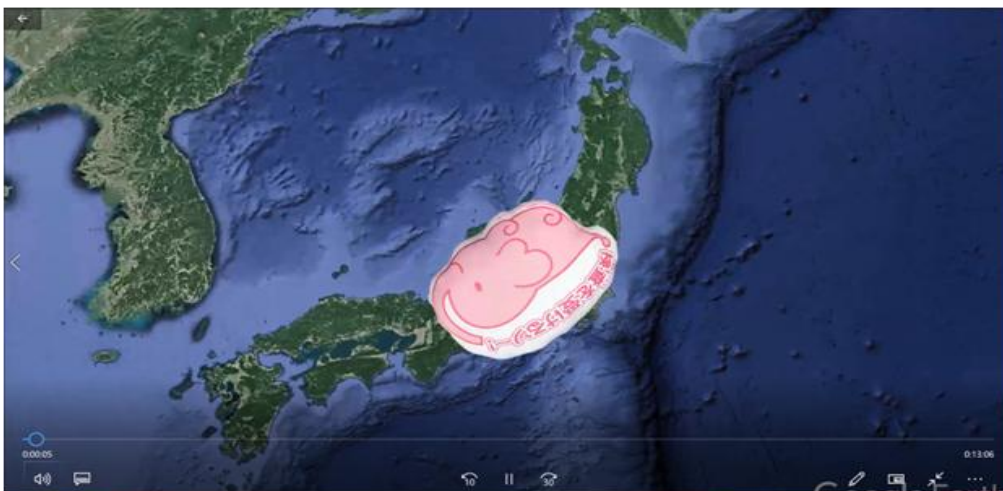
3. 今回の研修会の目的とお願い 12分 動画2
肝炎情報センター 室長 是永匡紹

4. 特別講演
なぜ患者と医療者はすれ違うのか？ 40分 動画2
大阪大学人間科学研究科 准教授 平井 啓

5. コロナ禍の活動報告 1 各5分 動画3
a. 肝疾患相談支援システム活動報告
富山県立中央病院 肝疾患相談室 看護師 古川市子
b. 未定
大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター 藤田幸子

6. コロナ禍の活動報告 2 約30分 各施設約3～4分 動画3
a. リレー動画1 (情報 C⇒福井済生会⇒和歌山大学⇒香川県立中央⇒岡山大学⇒情報 C)
b. リレー動画2 (情報 C⇒徳島大学⇒山口大学⇒久留米大学⇒佐賀大学⇒情報 C)

60施設 203名 医師43名



受講者（過去最高の参加者＋施設数）
60施設 200名 医師43名

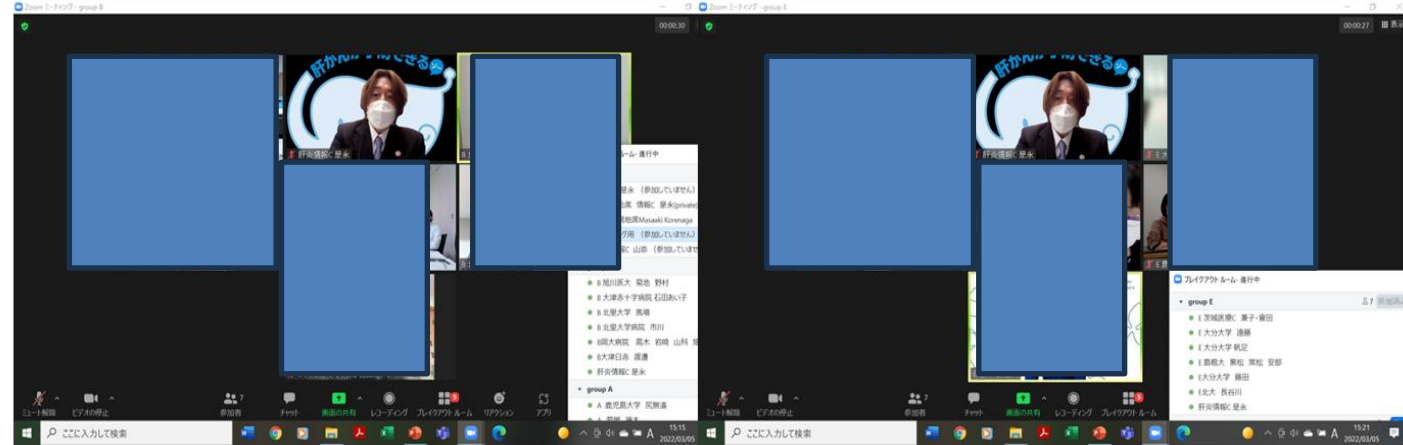
2021年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会

テーマ ～コロナ禍から学んだ・悩んだ肝 Co 活動を話そう！

○プログラム (進行: 虎の門病院 寺本いずみ/ 肝炎情報センター 是永)

- 挨拶 (13時～)
国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター
肝炎情報センター長 考藤達哉
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
室長補佐 野下祥太郎 / 行本 敦
- 講義 (13時5分～)
・「肝炎総合対策について」 (25分)
肝炎対策推進室 室長補佐 野下祥太郎
・「ウイルス肝炎治療の要点ーガイドラインのUpdateを中心に」 (25分)
肝炎情報センター長 考藤達哉
- (5分休憩)
- 意見交換 (グループワーク) のポイント (14時～)
・活動事例 (2施設 各5分)
「コロナ禍だからこそ出来ること」
福井済生会病院 看護師 橋本まさみ
「コロナ禍における院内外の肝臓病教室の開催」
徳島大学病院 看護師 立木佐知子
・肝炎すごろくについて (10分)
肝炎情報センター長 考藤達哉
コメント: 福井済生会 徳島大 佐賀大
・肝炎情報センター研修会事務局より
～相談センター向け研修会とは・相談支援システムについて・意見交換会の進め方～
肝炎情報センター室長 是永暁紹
- 意見交換会: (14時35分～)
・12グループ/ (4～5ブロック別+施設毎 10～12名) →ブレイクアウトルームに移動
・コロナ禍の肝Co活動と今後の展開/ その他(相談回答困難、活動における悩み等)
- (5分休憩)
- グループ発表 (15時45分～)
・発表5分 (質疑込) グループ代表1名が口頭コメントまたはppt使用)
- 閉会式 (16時50分)
・受講証授与 (代表: 虎の門病院 寺本いずみ+L group)
・記念撮影 (3回にわけます)
・閉会の挨拶:
肝炎情報センター長 考藤達哉

ハイブリッド開催+ブレイクアウトルームでグループワーク



50施設 136名
: 現地30名
→マンボウ後3名(医師2名)

⇒竹内上級研究員に担当変更

R4年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会 ～事例から探す肝Coとしてできること～ 52施設 108名

1. 挨拶（13時～）

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター

肝炎情報センター長 考藤 達哉

厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室

室長補佐 野沢 彰紀

2. 講義（13時5分～）

・「肝炎総合対策について」（20分）

肝炎対策推進室 室長補佐 野沢 彰紀

・「ウイルス肝炎治療の要点－ガイドラインのUpdateを中心に」（20分）

肝炎情報センター長 考藤 達哉

・肝炎すごろくについて

「啓発資料としての肝炎すごろくの開発とその学習効果」（15分）

横浜市立大学 先端医科学研究センター・コミュニケーション・デザイン・センター 助教 西井 正造

「青少年に向けた普及啓発－出張肝臓病教室による取組事例」（15分）

熊本大学病院 消化器内科 助教 瀬戸山 博子

（10分休憩）

3. 肝炎情報センター研修会事務局からのお知らせ（14時25分～）

・相談センター向け研修会とは／肝疾患相談支援システムについて（15分）

肝炎情報センター室長 是永 匡紹

4. グループワーク（14時40分～）

・グループワークの進め方（5分）

肝炎情報センター上級研究員 竹内 泰江

・事例検討 問題点の抽出／アプローチ法／解決策（50分）

（10分休憩）

5. グループ発表（15時45分～）

・発表（各4分以内、グループ代表1名がppt使用、事例ごとに質疑5分）

6. 閉会式（17時00分～）

・受講証授与（会場のみ）

・閉会の挨拶

肝炎情報センター長 考藤 達哉



Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いてグループワークを実施。
事務局で作成した想定事例について、
1グループにつき7－8名で対応案を検討し、発表。

現地＋Webのハイブリッド開催 参加者の9割は肝Co有資格者

R5年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会（竹内先生担当） ～相談支援システムの活用で情報収集とレベルアップ！！～ 43施設 76名

1. 挨拶（13時～）

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター

肝炎情報センター長 考藤 達哉

厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室

室長補佐 行本 敦

2. 講義（13時5分～）

・「肝炎総合対策について」（20分）

肝炎対策推進室 室長補佐 行本 敦

・「ウイルス肝炎治療の要点ーガイドラインの Update を中心に」（20分）

肝炎情報センター長 考藤 達哉

・肝炎情報センター研修会事務局からのお知らせ

相談センター向け研修会とは／肝疾患相談支援システムについて（20分）

肝炎情報センター室長 是永 匡紹

（15分休憩）

4. グループワーク（14時20分～）

・グループワークの進め方（5分）

肝炎情報センター上級研究員 竹内 泰江

・事例検討 問題点の抽出／アプローチ法／解決策（60分）

（15分休憩）

5. グループ発表（15時40分～）

・発表（グループ代表 1 名が ppt 使用） 各グループ発表＋質疑応答 5分以内

6. 閉会式（16時40分～）

・受講証授与（会場のみ）

・閉会の挨拶

肝炎情報センター長 考藤 達哉

コロナ禍を挟んで4年ぶりの現地のみ開催
複数ブロック複数職種が対面で話し合える環境へ

事例② 肝がんに対し肝予備能が悪いため移植検討中の48歳男性

10年前に肝硬変と言われた時にちゃんと通院するべきでした。一昨年は吐血するし、今は肝がんが複数個あると聞いています。肝臓が弱りすぎていて、手術とかはできないって、、、移植も考えようって言われましたが、家族の肝臓をもらうのは申し訳ないです。何年生きられるかも、お金も不安だらけです。



50s代
食べ過ぎで体重が増えました。脂肪肝も指摘されました。
酒が好きでγGTPが高く、脂肪肝があるそうです。



40s代
ドナーになりたいです。ただ、子どもが小さく、夫が消極的です。



- ・今後の治療が不安で本人・家族が肝疾患相談センター訪室。
- ・それぞれのご不安にどのように対応しますか？
- ・どのような支援が必要だと思いますか？

グループワークでは前年度よりも少人数で議論行い、全参加者が発言しやすいよう事前参考資料を配布。

R6年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会

～相談例に対するQ & Aを作成してみよう！～ 42施設 70名予定

1. 挨拶（13時～）

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター

肝炎情報センター長 考藤 達哉

厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室

室長補佐 清野 宗一郎

2. 講義（13時5分～）

・「肝炎総合対策について」（20分）

肝炎対策推進室 室長補佐 清野 宗一郎

・「ウイルス肝炎治療の要点ーガイドラインの Update を中心に」（20分）

肝炎情報センター長 考藤 達哉

・肝炎情報センター研修会事務局からのお知らせ

～肝疾患相談・支援センター向け関係者にお伝えしたいこと～（20分）

肝炎情報センター室長 是永 匡紹

（15分休憩）

3. グループワーク（14時20分～）

・グループワークの進め方（5分）

肝炎情報センター上級研究員 竹内 泰江

・テーマから導く質問抽出／回答案の検討（60分）

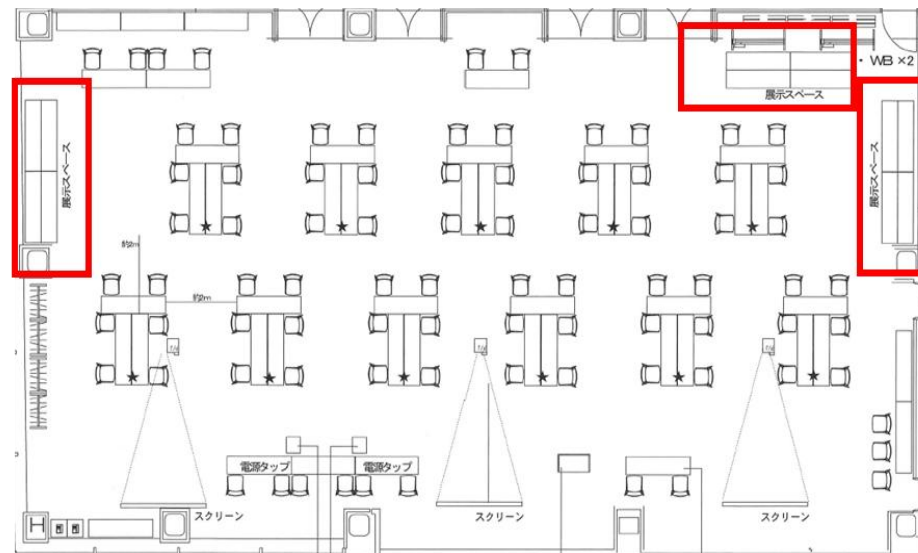
（15分休憩）

4. グループ発表（15時40分～）

・発表（グループ代表1名がppt使用） 各グループ発表＋質疑応答 5分以内

前年度同様に現地のみ開催

申込状況は42施設 70名と減少傾向に



2025年3月1日（土）13時～開催予定

前年度よりも啓発資材展示スペースを広く確保し、参加施設の今年度の成果物を展示。

グループワークでは参加者から希望あった議論テーマも含めた相談テーマを事務局で作成し、施設間の情報共有および今後の対応時に使用可能なQ&Aの作成を行う予定。

肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会の纏め

肝Co取得者90%↑(知識有)・協議会/ブロック会議参加者多・過去全施設参加歴無(旅費無)・会場参加数低下

開催年度	会場	参加施設数	参加人数	肝Co取得率	テーマ
2016	市川	56	113	35%	院内における看護師と相談員とのコミュニケーション（院内連携）の向上を図る ～院内肝炎医療コーディネーター育成・活用を目指して～
2017	浜松町	54	120	37%	各拠点病院の活動内容の情報共有 ～医師参加による院内連携強化と肝疾患患者へのコーディネート～
2018	浜松町	54	109	58%	拠点病院における相談業務と現状と課題～相談支援システム活用と偏見・差別について
2019	COVID-19のため中止				
2020	Web(オンデマンド配信)	60	203	67%	コロナ禍における拠点病院の活動状況
2021	新橋(ハイブリッド)	50	136	71%	コロナ禍から学んだ・悩んだ肝 Co 活動を話そう！
2022	新橋(ハイブリッド)	52	108	90%	事例から探す肝Coとしてできること
2023	新橋(現地のみ)	43	76	91%	相談支援システムの活用で情報収集とレベルアップ！！
2024	新橋(現地のみ)	42	70	97%	相談例に対するQ & Aを作成してみよう！

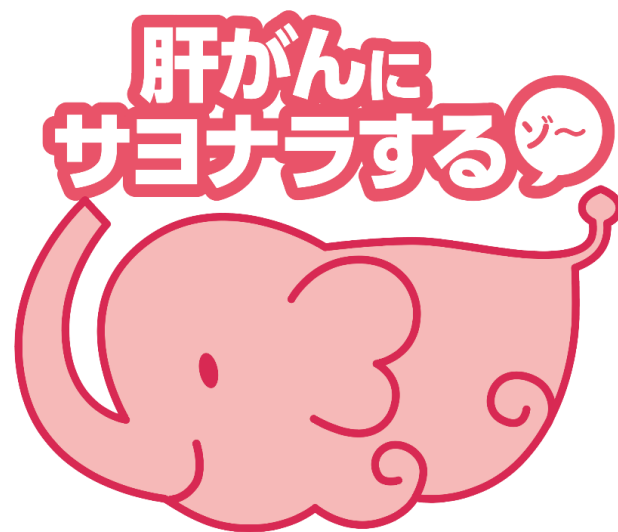
- ・相談事例以外のテーマ選定（地域の肝Co研修会で学べない内容？コロナ禍でオンデマンド化した内容⇒行動変容？）
- ・グループワークに拘らない（多くの地域で継続研修会にグループワークが集まらない⇒講義式）
- ・発表会（肝Co活動に限った内容[活動維持・啓発等]、肝がん助成の戦略費使用施設の成果？
⇒拠点病院肝Co（肝Co養成担当医師）向け研修会

次回テーマについてアンケートにご記入を ⇒肝CO養成者に特化した内容を

研修会事務局(研修室)からのお願いとお知らせ

⇒スマホをお持ちのかた協力を

②相談・支援センター関係者(肝Co)
に知って欲しいこと



①-a 肝疾患患者相談支援システムとは？

2019年(丸5年)から全ての拠点病院使用（相談対応の充実は拠点病院の必須事業）

■ 政策、制度概要

平成29年度 第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会 肝炎対策推進室「今後の肝炎総合対策」より改変

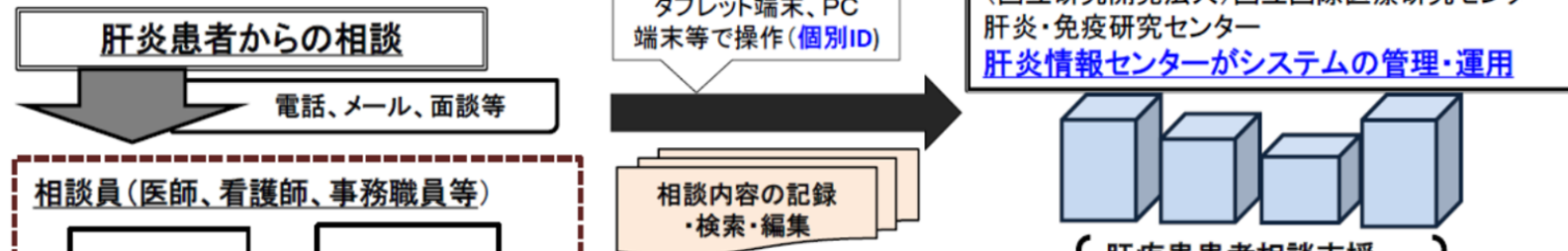
「肝炎対策基本指針」第4(2)シにおいて、「肝炎患者等への相談対応について、都道府県及び肝疾患診療連携拠点病院（以下「拠点病院」という。）は、地域の実情に応じて適切な体制を整備する。」とされており、様々な状況におかれた肝炎患者等の相談体制を充実させることが求められているところ。

このため、平成26年度から28年度まで厚生労働科学研究費補助金「肝疾患患者を対象とした相談支援システムの構築・運用・評価に関する研究（八橋班）」において、「肝疾患患者相談支援システム」を構築し、研究協力機関にて試験的運用をしてきたところ。運用の結果、当該システムの有用性が認められることから、全国の拠点病院に導入し、肝炎患者の相談支援に活用することとする。

■ 対象業務

本システムでは、拠点病院等における相談員等が、肝炎患者からの様々な相談内容を個人情報に十分に配慮して記録・検索・編集し、個々の事例に適した対応ができるよう、補助ツールとしての活用が期待され、全国的な相談員の質の均てん化により、肝炎患者の悩みの軽減や生活の質の向上へとつなげることができる。

■ 主な関係者と役割



病院内の相談内容を記載を・・・

- ・ 相談対応の充実は肝炎対策基本指針も基づく
- ・ 個人情報に十分に配慮（セキュリティ面は担保され運用開始・記載内容に配慮）
- ・ 肝疾患相談センター費用（国と都道府県＋一部情報C）＋システム運用費用（厚労省）

①-b 相談支援システム利用状況 マンスリーレポート

入力件数(月約1000件⇒減少中)・・・減少傾向も配信時はmail有 ユーザー(330名)の半数は毎月閲覧



肝疾患患者相談支援システム

本日までの全国総登録件数: 85349 件 (自施設: 0 件)

ユーザー情報編集



【NEWS】

「活動」

2025/02/16 神戸大学医学部附属病院: 2024年度活動報告

2025/02/14 東北大学病院: 2024年度 第2回 院内コーディネーター

ミニレポート作成

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 1/20

最近の活動報告までの
(Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら



2024 (R6) 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	R6年度上半期平均(範囲)	R5年度上半期平均(範囲)
ログイン施設数	71	72	72	72	71	71	71.5(71~72)	71.3(70~72)
登録施設数	53	57	50	56	49	51	52.7(49~57)	58.8(53~64)
記載ユーザー数	85	81	71	83	69	79	78.0(69~85)	85.8(76~103)
質問箱・活動報告閲覧施設	68	71	66	69	69	71	69.0(66~71)	69.2(68~71)
上記閲覧ユーザー数	185	200	153	207	187	166	183(153~200)	184(158~213)
参考: ユーザー数	338	340	337	335	334	337	337(334~340)	341(334~345)
参考: アクション数	40,239	33,811	25,599	39,991	30,360	27,026	32,838(25,599~40,239)	27,709(23,154~33,892)

2024 (R6) 年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度下半期平均(範囲)	R5年度下半期平均(範囲)
ログイン施設数	72	71	71	72			71.5(71~72)	70.5(70~71)
登録施設数	45	56	53	55			52.2(45~56)	56.5(52~58)
記載ユーザー数	75	85	74	77			77.7(75~85)	79.8(80~86)
質問箱・活動報告閲覧施設	71	69	69	65			68.5(68~71)	66.8(64~70)
上記閲覧ユーザー数	178	182	192	185			184(178~182)	185(173~205)
参考: ユーザー数	334	332	325	328			330(332~334)	339(338~340)
参考: アクション数	33,609	30,341	36,444	29,642			32,509(30,341~33,609)	30,286(31,363~35,985)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
2022年度(202301末時点入力数)	1080	1125	1189	1176	1112	1071	6753
2023年度(202401末時点入力数)	995	1046	1097	1039	960	862	5999
2024年度(202501末時点入力数)	1074	912	848	998	849	905	5586
1~2か月遅れて記載数	240	149	174	195	185	191	1134
3か月以上遅れ記載数	20	19	25	19	9	12	104
上記で今月記載数	1	6	16	6	2	4	35
2022年度比(同時期)	-6	-213	-341	-178	-263	-166	-1167
2023年度比(同時期)	79	-134	-249	-41	-111	43	-413

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期
2022年度(202301末時点入力数)	1036	1064	962	745			3807
2023年度(202401末時点入力数)	1001	1037	923	791			3752
2024年度(202501末時点入力数)	973	887	890	686			3436
1~2か月遅れて記載数	155	219	141				
3か月以上遅れ記載数	14						
上記で今月記載数	14						
2022年度比(同時期)	-63	-177	-72				-371
2023年度比(同時期)	-28	-150	-33				-316

令和7年1月31日現在

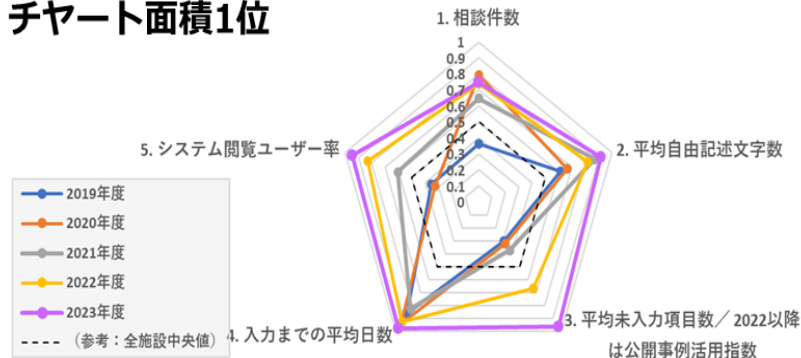
○年間25件未満施設数 = 月2件も相談対応がない施設

2019年度 11 2020年度 14 2021年度 15
2022年度 21 2023年度 25

①-c. 活用状況指標からみた優秀施設

鳥取大学医学部附属病院

チャート面積1位

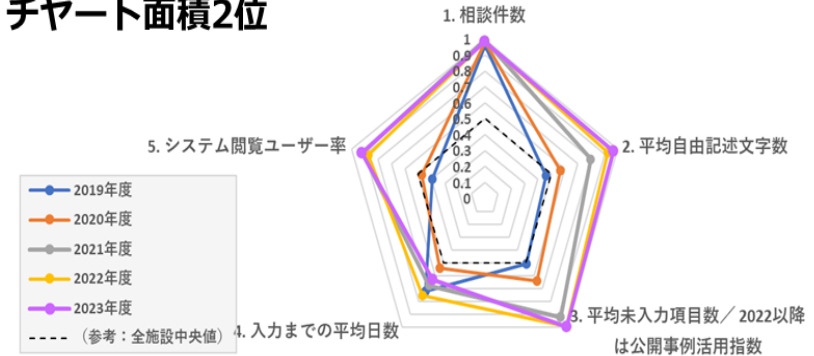


↑施設を選択	実数					スコア (0～1) 緑:Good 赤:Poor					
時期	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022 以降は 公開事 例活用 指数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム関 覧ユー ザー率	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022 以降は 公開事 例活用 指数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム関 覧ユー ザー率	総合順位・ 評価対象 施設数
2019年度	41	156.1	2.3	0.5	17.0%	0.36	0.61	0.30	0.86	0.35	33/60
2020年度	214	182.0	2.0	0.2	14.5%	0.79	0.67	0.33	0.94	0.33	21/57
2021年度	120	280.0	1.6	0.9	41.8%	0.65	0.87	0.38	0.83	0.61	22/56
2022年度	162	247.1	3.8918	0.2	66.1%	0.74	0.82	0.67	0.93	0.83	8/53
2023年度	176	308.7	6.0259	0.1	84.9%	0.75	0.91	0.97	0.98	0.95	1/47
(参考：全施設中央値)	72.5	168.0	0.26	9.1	41.8%	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	

↑件数は40→100~200件
(システム導入後上昇)

広島大学病院

チャート面積2位



↑施設を選択		実数					スコア (0~1) 緑:Good 赤:Poor					総合順位/ 評価対象 施設数
時期	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022 以降は 公開事 例活用 指数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022 以降は 公開事 例活用 指数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率		
019年度	899	113.5	0.6	3.0	21.7%	0.96	0.46	0.51	0.72	0.39	12/60	
020年度	1501	146.5	0.2	21.0	30.0%	0.98	0.57	0.64	0.54	0.48	19/57	
021年度	1889	239.5	0.0	5.7	77.2%	0.99	0.79	0.92	0.68	0.92	1/56	
022年度	1767	316.2	6.7044	2.0	71.0%	0.99	0.93	0.99	0.75	0.87	1/51	
023年度	1544	360.3	7.7634	9.7	78.5%	0.98	0.96	1.00	0.63	0.93	2/47	
(参考：全施設中央値)		72.5	168.0	0.26	9.1	41.8%	0.50	0.50	0.50	0.50		

↑件数は900→1500~1800件
(システム導入後上昇)

公開事例→AIにて相談内容を振り分け→均てん化を目指し回答集作成

本日までの全国総登録件数： 84523 件 （自施設： 0 件）

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 1/20

最近の活動報告まとめ
(Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら



【NEWS】 「活動報告箱」に投稿があります！ご意見やコメ

2025/01/22 近畿大学病院：近畿大学病院 活動報告（2024年10月～12月）

相談内容の記録・検索・編集

公開事例 (2175件公開中)

「B型肝炎であることを自分自身言いたくないため、他院受診時には、伝えていないのですが良いですか？」

「B型肝炎慢性肝炎に対し、当院で年に1回フォローを受けている患者。B型肝炎訴訟について弁護士事務所へ相談し書類が送られてきたため取り扱いについて相談したいとのことで来室された。」

「パートナーがB型肝炎に母子感染していることが、最近分かった。肝機能は正常の状態とのこと。自分は肝炎の検査をしたことが無いので、7/11に無料検査実施の医療機関に検査に行く予定である。今後の生活において気をつけることはありますか。」

肝炎患者の
理解を深める
厚生労働行政推進調査事業費

働く人の肝炎検査と

よくある
相談事例

回答の
均てん化が
必要では？

※相談事例回答集作成・相談事例記録集作成委員募集について

肝炎患診療連携拠点病院

事業担当者 事務担当者 相談支援システムユーザー 各位

(BCCで送信しています)

皆様から頂いた貴重な公開事例を、より多くの相談対応者に周知していただきたく、公開事例集（製本・システム内PDF）作成を考慮しており、相談事例記録集作成委員会を設置する予定です

対象・役割等は以下を考慮しております

- ・拠点病院内で相談担当者（医師・非医師を問いません）10名程度募集
- ・情報センターから正式に委員として委嘱し、規定に沿って謝金をお支払いします
- ・2ヶ月1回程度 WEB会議等で2、3件ずつ模範回答案を作成（事例案は公開事例をクラスター解析により抽出した40例を最初に作成）
- ・最終的にはAIによる簡易検索を目指す

今年度中に委員を決定し、来年度から本格始動できればと思います
ご興味がありますかたは、本メールに2月中にご返信くださいますと幸いです
事業担当者からの推薦が基本ですが、システムユーザーであれば
自薦でも構いません

3月7日まで募集中

①-d. 拠点病院活動報告欄 → 今年度 67施設(FB共有のみ4施設含)



肝疾患患者相談支援システム

活動報告を見る

✎ 本日までの全国総登録件数： 78810 件 （自施設： 0 件）

✎ ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 7/13

最近の活動報告まとめ
(Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら

リンク集

肝炎情報センター

厚生労働省 関連サイト



【NEWS】 🌟 「活動報告箱」に投稿があります！ご意見

- 2024/07/16 🌟 島根大学医学部附属病院：2024年度 活動計画 →
- 2024/07/16 🌟 市立秋田総合病院：2024年度 活動計画について →
- 2024/07/15 🌟 横浜市立大学附属病院：肝臓病教室のお知らせ →
- 2024/07/12 🌟 東北大学病院：2024年度 第1回院内コーディネーターミーティング →
- 2024/07/12 🌟 弘前大学医学部附属病院：2024年度 活動計画について →

北海道・東北

北海道大学病院
旭川医科大学病院
札幌医科大学病院
弘前大学医学部附属病院
岩手医科大学附属病院
秋田大学医学部附属病院
市立秋田総合病院
東北大学病院 **新着**
山形大学医学部附属病院
福島県立医科大学附属病院

関東・甲信越

群馬大学医学部附属病院
自治医科大学附属病院
獨協医科大学病院
日立総合病院
東京医科大学茨城医療センター
埼玉医科大学病院
千葉大学医学部附属病院
虎の門病院 **新着**
武蔵野赤十字病院 **新着**
横浜市立大学附属市民総合医療センター **新着**
聖マリアンナ医科大学病院
北里大学病院
東海大学医学部附属病院
横浜市立大学附属病院
山梨大学医学部附属病院 **新着**
信州大学医学部附属病院
新潟大学医学部総合病院
研修施設

東海・北陸

順天堂大学医学部附属静岡病院
浜松医科大学医学部附属病院 **新着**
名古屋大学医学部附属病院
名古屋市立大学病院 **新着**
藤田医科大学病院 **新着**
愛知医科大学病院
岐阜大学医学部附属病院
三重大学医学部附属病院
富山県立中央病院
市立砺波総合病院
金沢大学附属病院

近畿

南和歌山医療センター
福井県済生会病院
京都大学医学部附属病院
京都府立医科大学附属病院
滋賀医科大学医学部附属病院
大津赤十字病院 **新着**
関西医科大学総合医療センター
近畿大学病院 **新着**
大阪大学医学部附属病院
大阪公立大学医学部附属病院 **新着**
大阪医科薬科大学病院
奈良県立医科大学附属病院
和歌山県立医科大学附属病院 **新着**
兵庫医科大学病院
神戸大学医学部附属病院

中国・四国

岡山大学病院
広島大学病院
福山市民病院 **新着**
鳥取大学医学部附属病院 **新着**
島根大学医学部附属病院
山口大学医学部附属病院
香川県立中央病院
香川大学医学部附属病院
愛媛大学医学部附属病院
高知大学医学部附属病院 **新着**
徳島大学病院

九州・沖縄

長崎医療センター **新着**
久留米大学病院
佐賀大学医学部附属病院
熊本大学医学部附属病院
大分大学医学部附属病院
宮崎大学医学部附属病院
鹿児島大学病院
琉球大学病院

R2年度 59施設
R3年度 44施設（1施設はHP/FBのみ）
R4年度 56施設（2施設はFB共有のみ 山口 琉球）
R5年度 68施設

* 3年間 活動報告投稿無 昨年度6施設→今年度0施設

①-d. 拠点病院活動報告欄 → 今年度 67施設(FB共有のみ4施設含)



TOP



活動報告

肝疾患患者相談支援システム

是永 国

ログアウト

年度

活動報告箱

[前のページへ戻る](#)

最近の投稿

- 2025/02/16** [神戸大学医学部附属病院：2024年度活動報告](#)
令和6年度の活動報告について ① 医療従事者研修会について 神戸大学病院では、兵庫医科大学病...
- 2025/02/14** [東北大学病院：2024年度 第2回 院内コーディネーターミーティング実施報告書](#)
④その他 2024年度 第2回 院内コーディネーターミーティングを開催致しましたので下記のとおりご...
- 2025/02/14** [順天堂大学医学部附属静岡病院：2024年度活動報告②](#)
③ 啓発啓発活動・市民公開講座・啓発活動 今年度は7月6日に街頭キャンペーンを浜松市で開催...
- 2025/02/14** [順天堂大学医学部附属静岡病院：2024年度活動報告](#)
順天堂大学医学部附属静岡病院肝疾患相談支援センターの川口です。今年度の活動報告をさせていただきます...
- 2025/02/14** [山梨大学医学部附属病院：肝臓病教室 開催案内](#)
①肝臓病教室（サロン含） 山梨大学医学部附属病院肝疾患センターでは、肝ぞ...

[活動報告を投稿する](#)

活動報告（施設別）

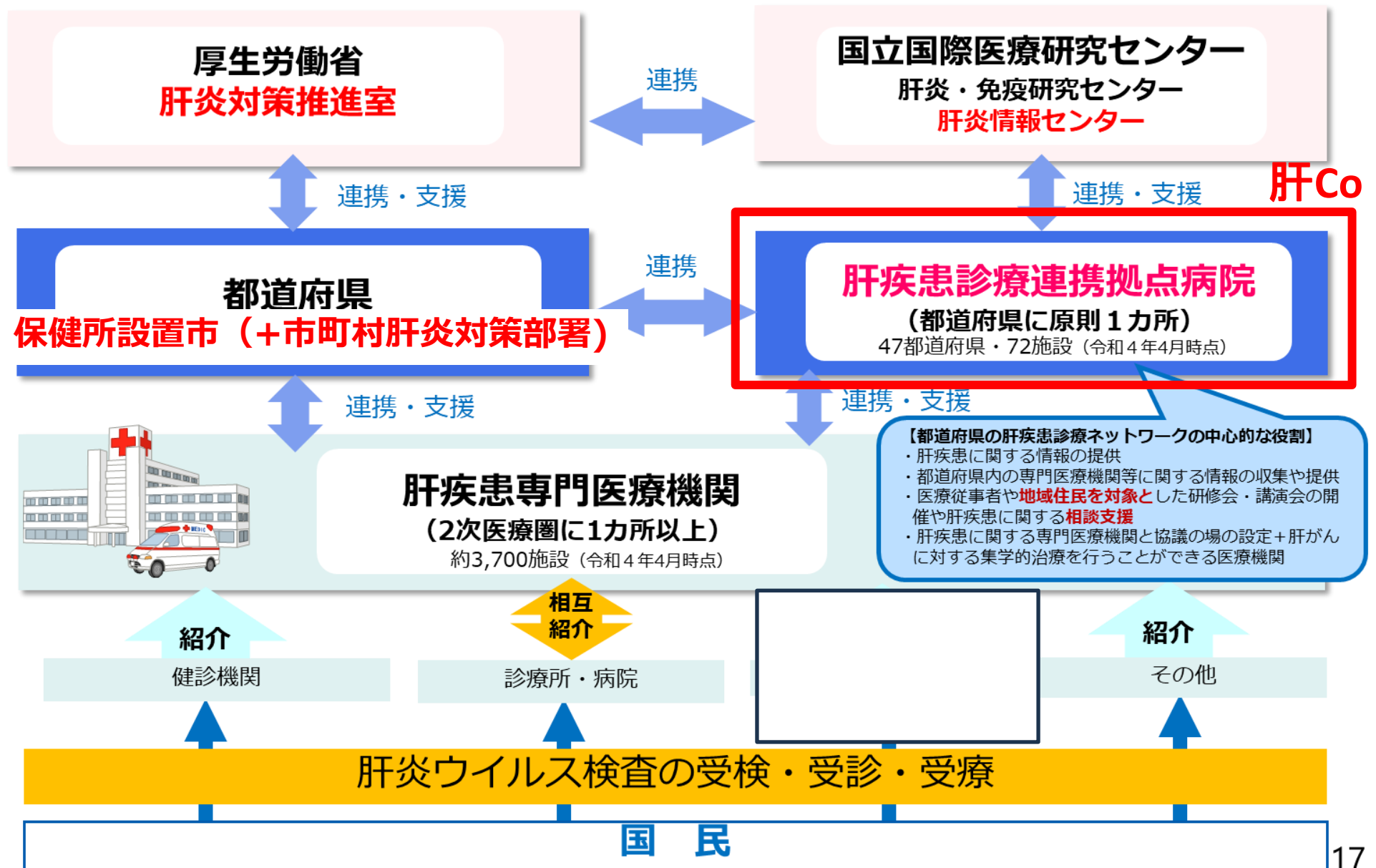
▼ 北海道・東北

[北海道大学病院](#)
[旭川医科大学病院](#)
[札幌医科大学病院](#)
[弘前大学医学部附属病院](#)
[岩手医科大学附属病院](#)
[秋田大学医学部附属病院](#)
[市立秋田総合病院](#)
[東北大学病院](#) 新着
[山形大学医学部附属病院](#)
[福島県立医科大学附属病院](#)

▶ 関東・甲信越

有効な情報発信方法とは（当時発表）

法律がある！ガイドラインもある！厚労省に「肝炎室が有」



開始までしばらくお待ちください

3/1相談支援センタ向け研修会

病院内肝Coメンバー
をよく知っていますか

Live!アンケート



開始までしばらくお待ちください

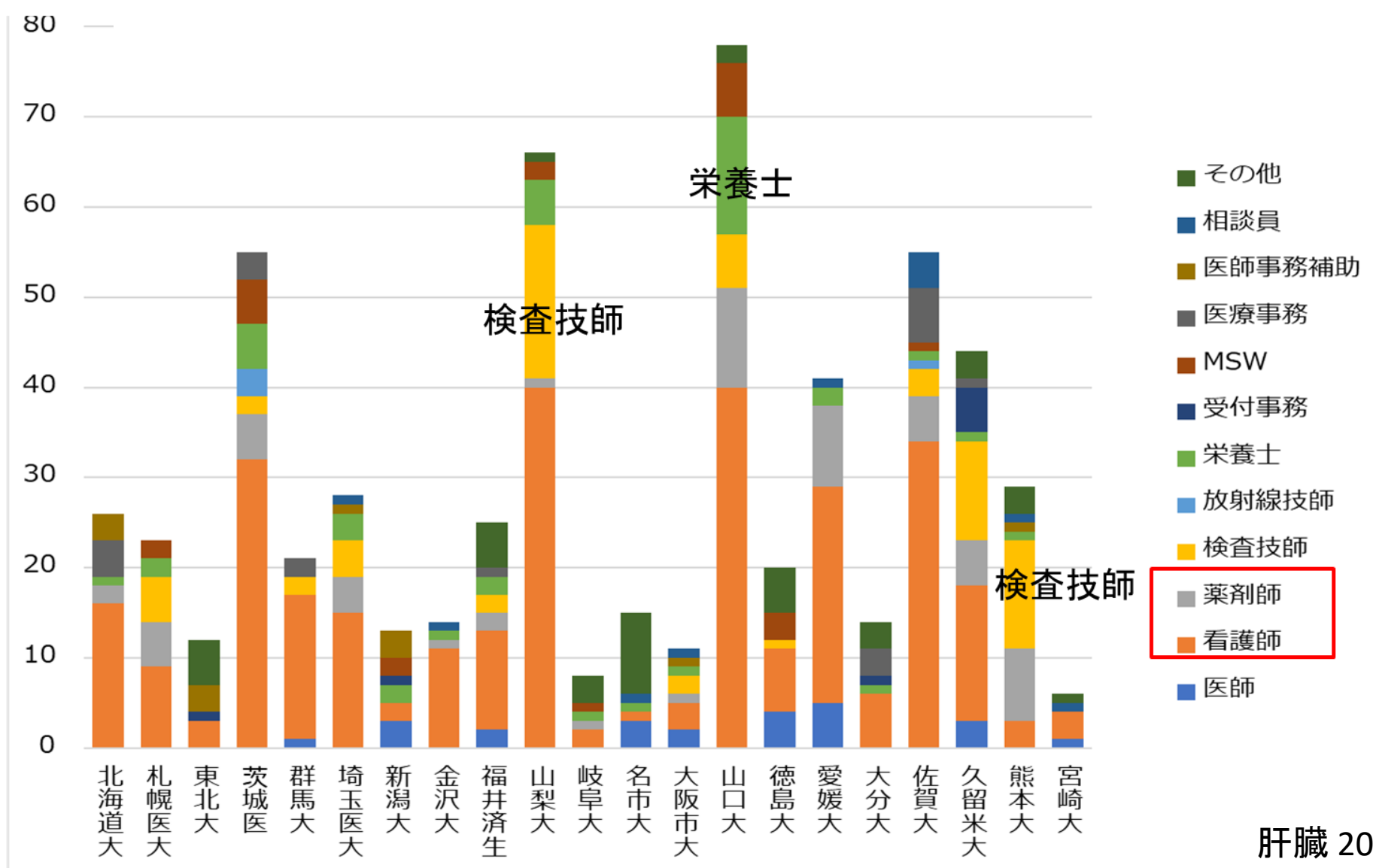
3/1相談支援センタ向け研修会

院内肝Co間での会
議・意見交換会があ
りますか

Live! アンケート

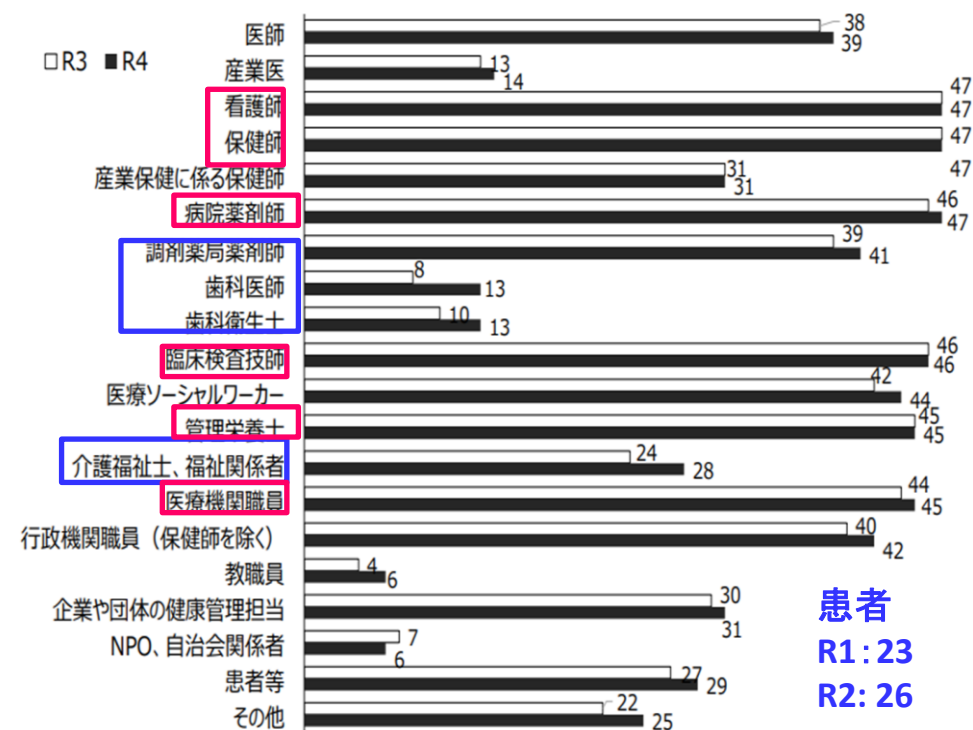
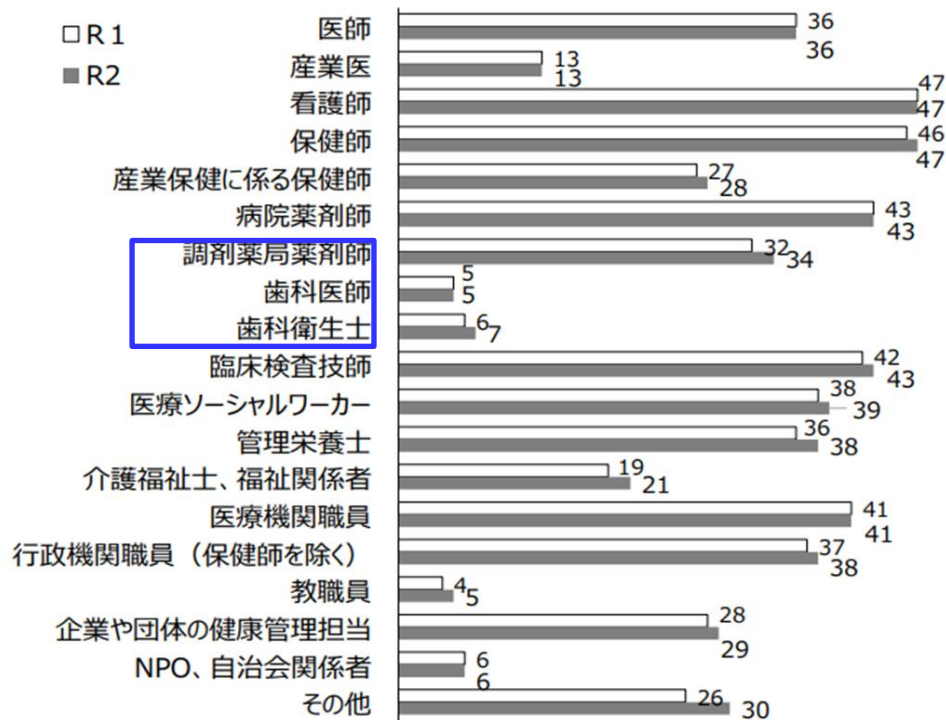


拠点病院ですら 肝Co養成数・配置に差がある



都道府県肝CO職種別養成者の変遷

⇒看護師・保健師・院内薬剤師・検査技師・栄養士・医療事務は45都道府県に



「令和3年度肝炎対策に関する調査（調査対象令和2.4.1～令和3.3.31）」（厚生労働省 健康局 がん・疾病

「令和5年度肝炎対策に関する調査（調査対象令和4.4.1～令和5.3.31）」（厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室調べ）より

* R3以降は 調剤薬局薬剤師 歯科関係者 福祉関係者が増加

* * 産業保健関係・教職員は増加しない

* * * 患者さんを肝Co取得可能な31都道府県、肝Co取得29(H4)

養成可能職種(47都道府県にアンケート調査)

看護師・薬剤師・臨床検査技師は全地域⇒学生・教諭は認められない地域も

医師	看護師	保健師	臨床検査技師	薬剤師	医療ソーシャルワーカー	看護助手	
○	○	○	○	○	○	○	
歯科医師	歯科衛生士	歯科助手	医療放射線技師	臨床工学技士	医療事務	管理栄養士・栄養士	
○	○	○	○	○	○	○	
理学療法士	作業療法士	衛生管理者	行政職員	ケアマネージャー	介護福祉士	ヘルパー	弁護士
○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	養護教諭	保育士	社会保険労務士	MR(製薬メーカー担当者)		検査メーカー担当者	
○	○	○	○	○		○	
小学生	中学生	高校生	大学生	民生委員	患者さん・元患者さん		一般市民
○	○	○	○	○	○		○

全職種 養成可能地域 (12)



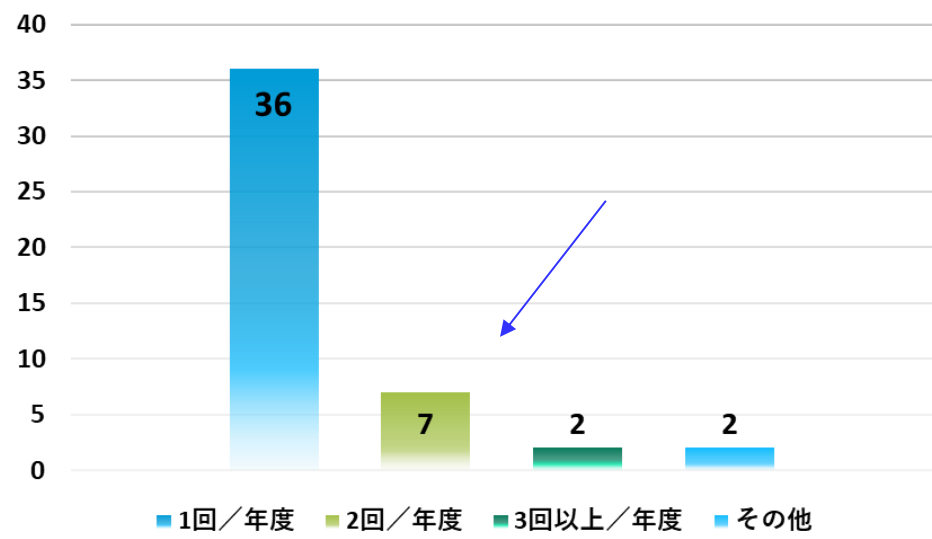
埼玉	栃木	群馬	千葉
徳島	広島	香川	鳥取
宮崎	長野	岡山(R5)	奈良(R5)

(↑患者さんは条件つき)

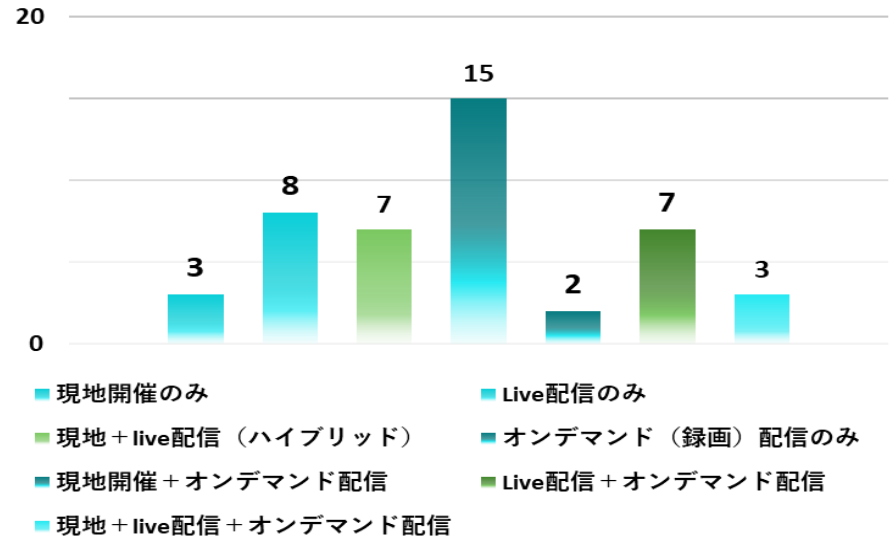
居住地以外からも肝CO認定可能(26): 岩手・福島・群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・神奈川・山梨・岐阜・福井・京都・滋賀・奈良・和歌山・兵庫・岡山・鳥取・徳島・福岡・大分・宮崎・熊本・佐賀・長崎・鹿児島
 聴講不可・想定無(10): 秋田 山形 新潟 長野 三重 山口 香川 愛媛 高知 沖縄

○養成講習会企画・運営（殆どが年1回+web併用→コロナ禍明けてもオンデマンドのみも）

1A.回数



1B.様式

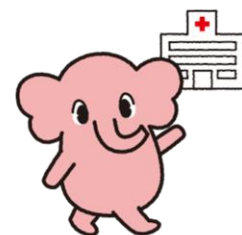


Co養成講習会で教えている内容(47都道府県にアンケート調査)

赤色はほとんど地域で講義に含まれていない→肝Co養成者には更なる講義が必要

肝炎対策基本法・基本指針	肝炎対策推進室	肝炎情報センター	拠点病院（相談支援センターの案内等）	知って肝炎	世界肝炎デー	偏見・差別
						↑17都府県
検査数・陽性率	肝がん死亡数	フォローアップ事業	治療費助成（B・C型肝炎ウイルス）	肝がん・重度肝硬変	初回精密検査助成	定期検査助成
A型肝炎	B型肝炎	C型肝炎	E型肝炎	自己免疫性肝疾患	脂肪肝	アルコール
血液検査の読み方	肝硬度	受診継続の重要性	肝硬変の合併症	肝硬変の治療	運動・栄養療法	肝がんの診断方法
肝がん治療（内科）	肝がん治療（外科）	肝移植	B型肝炎ワクチン	標準予防策（感染予防）	その他	

肝Coの均てん化は現状では困難！
知識の均てん化・アップデートは絶対条件では・・・



医療機関では差別・偏見はまだまだ多く報告される

10数年前からB型肝炎ウイルスに対する抗ウイルス剤を内服しPCR検査で陰性（**検出せず**）が継続中。別医療機関で観血的な処置をするため、「B型肝炎で通院中」と申告すると「もう診療できない」と言われた →申告しない患者さんもいます

覚：血液中の肝炎ウイルスがPCR陰性であれば針刺し事故からは移りません

標準予防策：誰もが感染していると考えて対応する

1996年（平成8年）日本消化器内視鏡技師会消毒委員会がガイドライン→洗浄方法が確立

それ以前
肝炎ウイルス陽性者は一番後（手術場でも）
非陽性者は十分な洗浄をせず次の患者さんへ

病院では現在も術前・入院時に肝炎ウイルス
検査施行・・・しかも繰り返し
（自分が感染の可能性があったときのため）
内視鏡前の梅毒・肝炎検査、要らなくないですか

2019/09/04

江本 哲朗＝日経メディカル

感染症 内視鏡前 梅毒 肝炎

<https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/eye/201909/5619>

印刷

シェアする 0

B!ブックマーク 0

ツイート



皆さんの医療機関では、消化器内視鏡や呼吸器内視鏡による検査の梅毒、B型肝炎、C型肝炎検査をルーチンで行っていないだろうか。帝京大学医学部名誉

B型肝炎ウイルスは下記の滅菌・消毒で感染性がなくなりますか？

血液、体液（唾液、胸水、腹水、心嚢液、脳脊髄液等すべての体液）、分泌物（汗は除く）、排泄物、あるいは傷のある皮膚や、粘膜を感染の可能性のある物質とみなし対応すること

➤ オートクレーブ

➤ 次亜塩素酸

➤ エタノール

B型肝炎ウイルスは下記の滅菌・消毒で感染性がなくなりますか？

区分	消毒薬	芽胞細菌	結核菌	エンベロープあり ウイルス 肝炎ウイルスなど	エンベロープなし ウイルス ロタウイルスなど	糸状真菌	一般細菌
高水準 器械・器具のみ	グルタラール フタラール 過酢酸	○	○	○	○	○	○
中水準 生体・環境	次亜塩素酸	○	○	○	○	○	○
	ポビドンヨード (生体のみ)	×	○	○	○	○	○
	エタノール イソプロパノール	×	○	△	×	○	○

←歯科外来診療における
院内感染防止マニュアル(2015)

CDCは次亜塩素酸(ミルトン)
を推奨⇒金属類は腐食有
(内視鏡も以前5分間消毒)

区分	消毒薬	一般細菌	緑膿菌	結核菌	真菌*1	芽胞	B型肝炎 ウイルス
高水準	過酢酸	○	○	○	○	○	○
	フタラール	○	○	○	○	○*2	○
	グルタラール	○	○	○	○	○	○
中水準	次亜塩素酸ナトリウム	○	○	○	○	○	○
	ポビドンヨード	○	○	○	○	×	○
	アルコール	○	○	○	○	×	○
低水準	第四級アンモニウム塩	○	○	×	○	×	×
	両性界面活性剤	○	○	△	○	×	×
	クロルヘキシジングルコン酸塩	○	○	×	○	×	×
	オラネキシジングルコン酸塩	○	○	×	○	×	×

←2020年度 消毒と滅菌の
ガイドライン

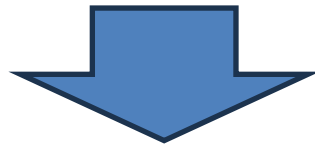
エタノールOK…….
⇒ノロウイルスに効果なし

日々、知識の向上が必要です

全くの私見ですが 標準予防策をしていれば

B型・C型肝炎ウイルスキャリアの有無を問診で聞く必要はなく
以下の方を重要視すべきでは？（講義1/講義6）

- ・肝疾患の既往
 - 出血しやすいといわれているか？
 - アルコール摂取・脂肪肝有無
 - 抗凝固薬内服の有無
 - ビスフォスフォネート製剤の有無

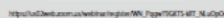


入院・手術時にHBs抗原・HCV抗体検査をする必要性ないのでは

Live配信

肝炎医療コーディネーター
継続研修会

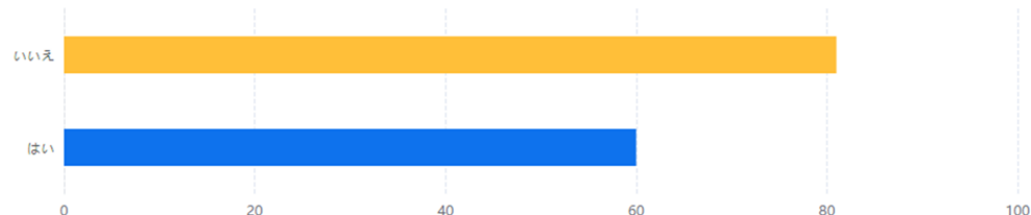
肝Co認定に関するお問い合わせ先 千葉県健康福祉部疾病対策課感染症医療班 TEL:043(223)2665



豊橋市歯科医師会 会員 加藤 正美

198名参加⇒千葉県歯科関係者：10名視聴

(141/150) 94% が回答しました



(141/150) 94% が回答しました

